

月刊 桜井シュウ

三ツ星議員★★★★

立憲民主党兵庫県第6区総支部 政務活動報告 **172号**



デタラメの「トランプ関税」に どう立ち向かうか!

企業団体献金の禁止に向けて継続審議!

桜井 周 (さくらい しゅう)

[学歴] 美鈴月影幼稚園、鈴原小、南中、県立伊丹高、
京都大、京都大院修士、ブラウン大院修士

[職歴] 国際協力銀行勤務、市議会議員 (2期)、
衆議院議員 (3期目)、弁理士、行政書士

[家族] 妻、長女、次女、犬 (トイプードル)



桜井シュウはSDGs基本法案を
作成し国会に提出!



2025年



デタラメの「トランプ関税」に どう立ち向かうか!

3月12日に鉄鋼・アルミニウムへの25%の関税を発動。また、4月3日には自動車に従来の2.5%に25%を加えた27.5%が課されました。さらに、4月5日に世界各国からの輸入品に課す相互関税を発動、日本については24%と一方的に発表されました。

昨年のアメリカ大統領選挙でトランプ候補は「tariff (関税)」は辞書で最も美しい言葉だ」と繰り返し発言していたことから、関税率引き上げは想定範囲内でした。一方で、関税は通商交渉の交渉材料にすぎず、口先だけで本当には課税しないだろうという楽観論がありました。しかし、桜井シュウは、関税は国内製造業の保護と税収確保目的だから何が何でも課税するだろう、楽観はできないと考えていました。実際、桜井シュウの悪い予想が当たってしまいました。

では日本はどうやって対抗するか? トランプ大

統領との直接交渉で世界経済への悪影響を説いても聞く耳を持たないでしょう。トランプ大統領が唯一、聞く耳を持つのはアメリカ国民です。トランプ関税で最もダメージを受けるのは、アメリカ経済とアメリカ国民だということをアメリカ国民に、日本からだけでなく世界各国から働きかけることです。桜井シュウは、世界に広がるネットワークを総動員して「トランプ関税」に対抗します。実際、アメリカ各地で「トランプ関税」と物価高への抗議デモが行われています。



関税と貿易政策、失敗の歴史に学ぶ

100年前を振り返ると、1929年にアメリカで世界恐慌が発生。この対策としてアメリカでは1930年のスムート・ホーリー法制定で関税率を引き上げたところ、世界各国が報復関税を課して対抗。世界貿易が停滞し、世界各国で人々の不満が高まりました。特に植民地と資源に乏しい日本とドイツ、イタリアは軍事力で自らの経済圏を拡大しようと試み、アメリカ・イギリスと対立。第二次世界大戦になってしまいました。

第二次世界大戦の末期(1944年)にアメリカ、イギリス、フランスなどの首脳がアメリカ・ニューハンプシャー州の保養地ブレトン・ウッズで戦後の体制について協議。第二次世界大戦に至った反省から、自由貿易による共存共栄こそが世界平和の礎となるとの理念の下、

戦後復興のための世界銀行(国際復興開発銀行)と金融の安定のための国際通貨基金(IMF)の設立を決定(ブレトン・ウッズ体制)。

トランプ関税は、100年前の過ちを繰り返そうとするものです。当時は核兵器がありませんでしたが、今は世界各地に核兵器があります。核兵器による戦争になれば、人類は滅亡します。第三次世界大戦は是が非でも避けなければなりません。



ツッコミどころ満載の「トランプ関税」

トランプ大統領が言うところの、非関税障壁を含めたアメリカから日本への輸出についての関税率は46%とのこと。そして、トランプ大統領は、相互関税であれば同じ税率すべきところを寛容だから半分にするとのこと。そして46%の根拠は、アメリカの対日貿易赤字685億ドル÷アメリカの日本からの輸入額1482億ドル×100=46.1%という計算です。関税率の計算としては全くデタラメです。世界貿易機関WTOが公表する日本の関税率は3.7%です。

	輸出品目	税率
トランプ政権の 対日関税	鉄鋼・アルミニウム	25.0%
	自動車	27.5%
	その他(相互関税)	24.0%

日本はアメリカに対して、貿易収支では黒字ではありますがサービス収支では赤字です。

いわゆるデジタル赤字(クラウド・サービス、オンライン・ショッピング、動画・音楽配信、ネット広告など)が約6兆円あります。貿易黒字からデジタル赤字を差し引けば、日本の対米黒字は2兆円程度でトランプ大統領が目くじらを立てるようなレベルではありません。このことは日本政府がトランプ大統領に申し入れるべきです。

さらに、ホワイトハウスが公表した計算式にある係数で0.25となっているところが間違いで正しくは0.945であると当該係数を提供したアメリカの経済学者が指摘。実は46%ではなく12%だったということです。もともとの計算式自体が無意味であるだけでなく、その計算すら間違えていた。つまり、デタラメの計算で世界経済を大混乱に陥らせました。とんでもないことです。

「トランプ関税」への効果的な対抗策はコレ!

日本だけお目こぼし、というゴマすり外交は通用しませんでした。むしろ、日本は反発しないということでナメられています。主張すべきを主張しなければ交渉にすらなりません。トランプ大統領はルールではなくディールなので、

関税引き上げは国内の物価高を引き起こし、自国の消費者が損することは経済学の常識です。さらに、関税率引き上げに加えて、トランプ大統領が推進する移民強制送還と所得減税はいずれも物価上昇を引き起こします。トランプ政権が引き起こした物価高騰にアメリカ国民が反対の声を上げるべきで、それを支援します。実際、反対の声は全米各地であがっています。

日本も「報復関税」で対抗すべしという勇ましい意見がありますが、残念ながら日本はアメ

リカに対して大きな効果のある品目に乏しいのが実情です。有効なのはデジタル赤字に対する対抗策です。クラウド・サービスの国内立地や日本人の個人情報の国外持ち出し禁止などを検討します。

また、トランプ大統領は日本と中国に対して自国通貨安を誘導する為替操作国だと批判しています。であるならば、トランプ大統領の仰せに従って日本と中国がアメリカ国債を売って資金を引き上げればよいのです。長期金利が高騰して困るのはアメリカです。また、日本では悪い円安で国民生活に悪影響が出ていますが、円安是正・物価抑制の機会になり一石二鳥です。桜井シュウはこれらの対抗策を發動できるように特別会計法の改正などを提案しています。

2025年春も議員インターンシップを実施!

慶應義塾大学経済学部3年生 M.Y.

財政学を学びたいと考えていたものの、政治や税制に関する知識が不足していると感じ、インターンへの参加を決めました。ニュースや新聞、大学の授業で得られる知識だけではなく、政治の現場で今まさに何が議論され、どのような課題があるのかを知るには、議員のもとで学ぶのが最も効率的だと考えたからです。

実際に桜井議員のもとでのインターンでは、そのような学びを十分に得ることができています。具体的には、桜井議員が所属されている委員会や本会議の傍聴、さまざまな議員連盟への参加を通じて、各政党の主張の違いや主要な論点を自らの目と耳で

確かめることができます。さらに、桜井さんや政策秘書に直接疑問をぶつけられることは、このインターンの大きな魅力だと感じています。

また、これまでの私は、日常生活の中で政治について深く考える機会が少なく、選挙の時だけ候補者の主張や世論を急いで調べ、限られた知識のもとで投票していました。政治について日常的に考える習慣を身につけたいと思ったことも、このインターンに参加した理由の一つです。実際に経験を積むことで、政治への理解が深まるだけでなく、自分自身の政治的意見をしっかりと構築することにもつながっていると実感しています。

企業団体献金の禁止に向けて審議継続!

昨年末に2025年3月末までに企業団体献金禁止についての結論を得る、と政治改革特別委員会で申し合わせしましたが、実現できていません。立憲民主党、維新の会など野党5会派が企業団体献金禁止を盛り込んだ政治資金規正法改正案を提案しています。しかし、自民党、公明党、国民民主党が反対しており成立の見通しが立っていません。国民民主党の玉木雄一郎代表は昨年末にテレビ番組で企業団体献金の禁止について「野党が一致したら賛成する原点に戻る」と発言しましたが、反故にされました。

政治改革について、国民のみなさまからは、「議員の自分たちのことでしょ、何をダラダラ議論

しているのか。それよりも物価高を何とかして欲しい!」という意見を聞きます。桜井シュウが政治改革に取り組んでいるのは、まさに国民生活と政治が繋がっているからです。物価高になったのは悪い円安(=アベノミクス)が最大の原因です。輸出企業は円安で大きな利益を上げ、自民党に政治献金しています。自民党政権は政治献金してくれる大企業の経営者で組織する経団連の都合ばかり優先し、国民の暮らしには目もくれません。政策が政治献金で買われてしまう、そんな政治を終わらせることで、桜井シュウは国民のための政治を実現します!

【募集】2025年 夏季議員インターンシップ(第29期)

若者に政治への関心を持ってもらうため、桜井シュウは毎年、大学の春休みと夏休みに議員インターンシップを実施しています。今春は5名の学生が参加しました。この経験を通じて大きく成長されることを期待します。

【案内】青空対話集会

4月27日、5月25日、6月22日に開催!
(毎月第4日曜日に宝塚・川西・伊丹で開催)
11:00~12:00 阪急宝塚駅 西側 ゆめ広場
14:00~15:00 川西能勢口駅 アステ川西デッキ
16:00~17:00 阪急伊丹駅 北側ロータリー
屋外での集会ですので、雨天の場合には中止します。

三ツ星議員★★★★とは

活動量の多い国会議員に与えられる称号です。政策を評価するNPOが、全ての国会議員について、①議員立法の提案、②本会議・委員会での質問数・質問時間、③質問主意書の提出数などに基づいて評価するものです。桜井シュウは6回表彰を受けました。

発行者 立憲民主党兵庫県第6区総支部長・衆議院議員

桜井 シュウ

〒664-0858 伊丹市西台5-1-11

TEL▶072-768-9260

FAX▶072-768-9261

e-mail▶sakuraishu.office@gmail.com

URL▶https://www.sakuraishu.net



桜井シュウの政治活動へのご協力をお願い

●ポスティング

伊丹市・宝塚市・川西市の各ご家庭に配布しております。ご近所周辺など可能な範囲・枚数だけで結構ですので、ご協力をお願い致します。

●ポスター掲示

ご自宅の塀・外壁、駐車場のフェンスなどに桜井シュウのポスターを貼って下さい。またご近所に人通りが多く、ポスターを掲示していただけた場所がありましたらご紹介下さい。

●政治献金

一人でも多くの方に国政報告をお届けするために、カンパをお願い致します。お振込みいただく場合は、恐れ入りますが手数料のご負担をお願い致します。
(※個人献金ができるのは日本国籍を持つ方に限られます。)

■お振込先:

三井住友銀行 伊丹支店 普通4719556「桜井周後援会」
ゆうちょ銀行 00970-8-332979「周山会」

ご意見・ご相談、お気軽にご連絡下さい! ※直接書き込んで(別の様式でも可)ファックスやメールで送り下さい。

お名前▶

お電話番号▶

ご意見▶

CP 号外
立憲民主
The Constitutional
Democratic Party of Japan

立憲民主党
立憲民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区
永田町1-11-1
TEL 03-6811-2301
FAX 03-6811-2302
兵庫県第6区版